



3年学年集会「ダルマの開眼式」～全員で合格を誓いました～

12月4日(金) 3年生が学年集会で「ダルマの開眼式」を行いました。3年生は目指す進路先合格に向け、それぞれが一生懸命勉強に頑張っています。そして、三者懇談等を通して、進路先の決定に向けて親子での話し合いを進めています。そこで、合格への願いを込め合格への気持ちを高めるために「ダルマの開眼式」を行いました。式では、ダルマの左側の目を書き入れるための墨作りとして、希望者(ほとんどの生徒)が願いを込めて2～3回ずつ墨をすりしました。願いの十分こもったとても濃い墨になりました。その墨でダルマの左側に目を入れました。今後、合格した生徒から順にダルマの右目に小さな点を入れていきます。今、訓練校に内定した生徒が一人います。その生徒にダルマの右目に小さな点のような目を入れてもらいました。最後には、全員が合格して177人分の点が集まった大きな右目になる予定です。



ダルマに願いを込めて 橋立美穂(3-1)

今日は全員合格を願ってダルマの開眼式を行いました。校長先生、私たちのためにダルマの開眼をしてくださり、ありがとうございました。

私たち3年生は、様々な行事を通してクラスや学年の団結を深めてきました。これから、その団結力を受験勉強に変えて、それぞれの進路に向けて努力し続けます。

時には、大変なこともあると思いますが、「七転び八起きの精神」を忘れずに、ダルマさんのようにあきらめない強い気持ちで受験に臨みます。絶対合格します!!

碧南代表として、走った!～愛知県市町村対抗駅伝大会(メモリアル駅伝)～

12月5日(土) 愛知県市町村対抗駅伝大会が行われました。この駅伝大会は2005年に行われた愛知地球博を記念して、その会場だったモリコロパークにコースをとり、翌年から行われるようになりました。今年は記念すべき第10回。本校からは1年の中崎綾香さんが第1区で出場しました。中学生女子の代表ですので、各市町からは2,3年生の選りすぐりの選手が出場します。愛知県は中学生のレベルが高く、1区の中には全国3000mで優勝している選手も含まれていました。その中で、中崎さんは1区2.8kmを10分45秒で走り29位でした。優勝した名古屋の選手が9分44秒でしたので、3年生を相手に1分遅れくらいの大健闘でした。最終的には、碧南市は30位でした。中崎さんはまだ1年生です。まだ2回チャレンジできます。今後の健闘を期待します。

代表として走り終えて 中崎綾香(1-1)

私は12月5日の愛知駅伝に向けて6月から練習をしてきました。5回の選考会レースに出て碧南代表に選ばれた時は、すごくうれしかったです。愛知駅伝は、各市町村の代表が集まってきます。中3のお姉さんたちがたくさん出てくる中で、中1の私がどんな走りができるか不安でした。スタート直前では、ものすごく緊張していました。レース中は、前についていくことで精一杯でした。でも、いつもクラブと一緒に練習している子が2区で待っていてくれると思って、少しでも早くタスキを渡したいと思いました。

私が中2、中3になった時にまた碧南代表として出られるように、駅伝が終わった次の日から努力をしています。胸を張って走れるように自分を信じて頑張りたいです。

子どもたちが笑った、楽しんだ！

～日進公民館まつりボランティア～

12月6日(日) 日進公民館まつりがありました。そこに54名の東中ボランティアが参加し、地域の方々のいろいろなイベントのお手伝いをしました。ニュースポーツや小学生が参加する青少年コーナーの運営を担当しました。青少年コーナーでは、「ペットボトルパチンコ」「パターゴルフ」などがあり、小学生に優しく声をかけてお世話をしました。また、一般の来客者がうどんやおでんを食べた時に生じるゴミの分別もしました。ゴミを持っている人に積極的に声をかけてごみを受け取り、感謝の言葉をかけられている生徒もいました。

人の役に立って 池田琴音(1-1)

12月6日、私は日進公民館まつりのボランティアに参加しました。元々、人のために手伝ったりすることが好きなので参加しました。

私は、駐輪場整理とゴミの分別の係を任せられました。そこで、私は他の子と協力しながら、自分のできることを精一杯やりました。ゴミの分別の担当の時、私はゴミを手を持っている人がいたら自分から進んで声を掛けにいきました。ボランティアだからというわけではなく、自然と体が動いていました。他の子より人一倍働いていたらしく、「気が利くね」と声をかけられました。何より、「ありがとう」と言ってもらえたことがうれしかったです。

これからも、たくさんボランティアをしたいと思いました。



絵は黙せる詩、詩は語る絵 ～1年美術館学習～

12月10日(木)、11日(金) 1年生が美術館学習に行きました。今年の企画は「画家の詩、詩人の絵～絵は詩のごとく、詩は絵のごとく」。古来より「絵は黙せる詩、詩は語る絵」といわれてきたそうです。今回の企画では、著名な画家や詩人の絵や詩が多数展示されていました。画家が絵を通してどんなことを主張しているのか、また、詩人が詩の中にどんなイメージをこめているのか、感じる機会となりました。美術館学習の中で、2つの課題が与えられました。1つは「絵を見て感じたままに詩に表すこと」、そしてもう1つは「200点ほどの作品の中から気に入った作品を2点選ぶこと」。生徒一人ひとりが、絵からどんなことを感じ取りどんな世界を描いたか、そしてどんな詩を創ったか、とても楽しみです。



資源回収

ご協力ありがとうございました